

## カンボジアプロジェクト2021 「ありがとうの花をさかせよう」を開催しました

2019年から私たちは、日本語を学ぶカンボジアの子ども達に日本語の中で最も美しい言葉とされている「ありがとう」という言葉の意味と、その言葉に含まれる「思い」を活動の中で伝えてきました。今回、中部大学春日丘高等学校インターアクト部の生徒の皆さんの協力をいただき、カンボジアプノンペン「ひろしまハウス」の子ども達とリモートでつなぎ、3回に分けて「ありがとう」をテーマに交流を行いました。今回の交流から生み出された言葉を紡ぎ、シンガーソングライターの川名洋行氏により、「ありがとうの花」をイメージした楽曲を制作します。そしてこの活動は「カンボジアプロジェクト2022」へと発展します。

### ■ 第1回「カンボジアを知ろう」



一般社団法人日本国際支援機構の柴田氏や、「ひろしまハウス」の先生方の協力をいただき、春日丘高校の生徒が「カンボジア」の概要、歴史や文化を学びました。近い過去「国民大虐殺」といった不幸な歴史があったこと、カンボジア人の平均年齢がまだ20歳代と若いことなど、日本での自分たちの生活環境とまるで違うことを知り、驚きの様子でした。「ひろしまハウス」の先生へカンボジアの文化や生活についての質疑や応答が活発に行われ、春日丘高校の生徒の今回のワークショップへの関心の高さが感じられました。

### ■ 第2回「友達になろう①」

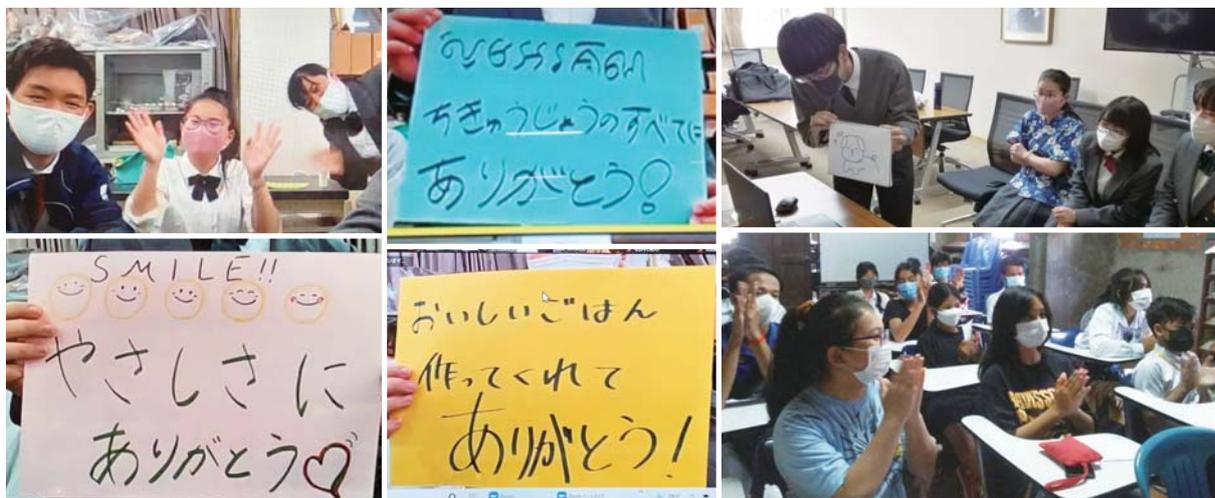
「春日丘高校」と「ひろしまハウス」の子ども達の初対面でした。今回のリモートでのワークショップは、春日丘高校の生徒さんに進行をお任せしました。どんな内容になるか楽しみにしていましたが、カンボジアで流行っているような音楽を探し、ダンスを披露したり、日本語の「絵しりとり」で交流を深めました。「ひろしまハウス」の子ども達は日本語を学んでいることもあり、高い興味を示してくれました。お互いの文化や言葉の違いを感じながらも、同年代だからこそ分かり合えることもあったのではないかと思います。



### 第3回「友達になろう②」

最終回となる今回のワークショップは両国の子ども達が「ありがとう」に関するエピソードを話し合いました。前回のワークショップで「ありがとう」を伝えたい人や、「どうしてそう思ったか」など発表できるように準備をしておくように宿題が出されていました。

驚いたことは「ひろしまハウス」の参加数が前回より大幅に増えたことでした。前回参加した子ども達が友達を誘ってくれたようです。日本の高校生はカンボジアの友達に話の内容が伝わるように言葉を選んで、必要によっては絵の描かれたフリップを用意していました。カンボジアの子ども達は日本の友達に内容が伝わるよう何度も練習し全員が発表してくれました。1時間30分ほどの短い時間でしたが、ワークショップを終えると両国の子ども達からたくさんの「ありがとう」の言葉を聞き、さわやかな優しい気持ちになりました。「『ありがとう』の気持ちをいつも持っていれば世界中が平和になるのに」という感想も聞かれました。最後にはお互いの気持ちもすっかり打ち解け、リモートではなく「直接会いましょう」という声も多く聞かれました。いつかこの願いが叶うといいと思います。



### 「カンボジアプロジェクト 2022」へ

今回子ども達から発せられた言葉を元に、シンガーソングライターの川名洋行氏により、楽曲「ありがとうの花(仮題)」が制作されます。そしてカンボジアとオンラインで中継を結び、2022年9月に名古屋栄、オアシス21で開催される予定のバリアフリー音楽祭「とっておきの音楽祭」で披露する予定です。ご期待ください。

国際ボランティア団体チーム「アジアの風」は、この曲を通じて日本、カンボジアはもとより世界の子ども達に「ありがとう」の心を届けていきます。



公式ホームページはコチラ▼

<https://wind-of-asia.com>

チームアジアの風



facebook  
更新中!

